

令和3年第11回大河原町教育委員会定例会会議録

1 招集日時 令和3年11月19日（金）

2 招集場所 大河原町役場 第一会議室

3 出席委員 舟山幸枝委員、一盃森広志委員、丹羽宜博委員、小山明子委員、鈴木洋教育長

4 説明のため出席した者

佐藤勝弘教育総務課長、山家一博学校教育専門監、佐藤友幸係長

5 開 会 午後2時

6 令和3年第10回教育委員会定例会会議録の承認について

鈴木教育長 | （委員全員に諮って）承認する。

舟山委員、丹羽委員 署名。

7 教育長報告

（1）一般事務報告について

報告第12号 障害児の就学措置に係る答申について

鈴木教育長 | （委員全員に諮って）可決する。

（2）専決事務報告

なし

8 議 事

議案第29号 大河原町スポーツ推進審議会委員の委嘱について

鈴木教育長 | （委員全員に諮って）可決する。

9 その他

教育長報告

1 チームをつくる

○東京五輪日本代表監督 稲葉篤紀

オリンピック日本代表野球の監督。チームのメンバーをどの様を選ぶか。チームの編成するとき、どうやったら良いチームができるかを第一に考えてメンバーを選出した。

校長は教員を選ぶことはできないが、その中で育てていくしかない。監督によって野球が

変わるのは当然とのことなので、校長先生方も学校づくりに頑張って欲しい。

2 学力向上

間違いに寄り添う。間違いを生かす。誤りを生かす授業が必要。

(1) 対話的に学び合う子供を育てる（石井順治）

(2) 『「対話的学び」をつくる』（石井順治）

グループ学習やペア学習で学ぶことがあるとは思っていたが、対話の中で子供同士で学び合っていく、高め合っていくことが大切だと気付かされた。わからないことを出してもらって、宝物にしていくことが大切。大河原小学校では、間違いを生かす対話的学びと教師の問い返しをしていくことで意味理解を深めさせる取組を始めている。

学級づくりが重要で、お互いをリスペクトしてお互いの声に耳を傾ける学習集団でないとできないこと。各学校の授業では先生は子供の考えに耳を傾けて、その考えを整理していく授業をして欲しい。

(3) 全国学力調査問題の「漢字の読み書き問題と計算問題」・・・別冊

全国学力テストに、最近は漢字の読みが出たり出なかったり。計算問題は少なくなり考えさせる文章問題の出題が多くなった。過去問題集を作った。一通りやれば力がつく。

3 地域の要望に応える「注文ボランティア」（玉置崇）

大河原中学校にボランティア部がある。これまでは万引き防止のティッシュを配ったりしているが、地域の人からの要望を聞いて活動してみるのも良いのではないかな。

4 その他

(1) 小中学校における文化的行事

(2) 大河原中学校MAS避難所開設訓練

(3) 大河原中学校志集会「中村哲医師」NHK で取り上げられて放映された。

(4) インリーダー研修会 蔵王自然の家で行われた。

(5) 金ヶ瀬小学校外国語研修会 自分の英語の授業を診てもらったことないと話していたので、校長先生が機会を作ってくれた。

(6) 大河原小学校音楽発表会

丹羽委員	修学旅行の状況はどうだったか。
鈴木教育長	全部、無事に終わった。中学校は栃木、群馬 方面。小学校は会津若松。
舟山委員	相手と対話の形が必要であれば、物理的な教室の造りも変わっていくことになるのでは。教材研究は今までは教え方の研究に終始していたが、これからは子供達の様子を見て、授業を組み立てていく必要がある。
鈴木教育長	中教審も、個別最適と協働的な学びと言っている。グループを作って話し合いで終わるのではなく、もっと深い友達同士の学び合い教え合いが必要だと思った。
一盃森委員	もっとこういうことをやれると良かったと思う。教師の立場から言うと、子供の体の向きや視線が大切。教員側が俺の言うことを聞けばわかる姿勢では、絶対ダメだ。課題を解決していこうとするときに、どうやってわかっていくのか、子供のわかり方を考えて授業を作ってきた。若い先生に早い段階で身に付けて欲しい。子供の考え方を手がかりにして授業して欲しい。コロナが流行っていなければ、3学期に授業参観をさせて欲しい。
鈴木教育長	大河原小学校が1月21日が研究指定校の2年目の中間発表会になっている。
丹羽委員	対話的学びは、難しいのではないか。
鈴木教育長	笠井先生は2か月あればできると言っているが、先生の力量に応じて無理しないでやっていただければいいと思っている。
一盃森委員	幼稚園教育の中で、自由保育がもてはやされた時期があったが、みんなで集まって話を聴けなくなる。1年生の入学式も立って歩く子が多くなった。自由保育も大切だが、一斉保育も大切。そのバランスが大切。子供に全部やってよと言っても成り立たない。クラスづくりのバランスが大切。
丹羽委員	生徒に3日間講話をしたが、時間配分が必要だった。初日は、30分時間が短縮されたので、まとめの話ができなかった。面白かったで終わってしまった。座禅=厳しいと先生が思っていたが、座禅=楽しいものと認識が変わった。(気持ちがスッキリする)
小山委員	対話と体の向き視線が気になっていた。きれいな授業ではなく、刺激のある授業をいっぱいして欲しい。ボランティア部には地域とつながるような活動をして欲しい。
鈴木教育長	金ヶ瀬公民館の夏祭りも中学生のボランティアを募集したい。

(2) 課長報告

教育総務課長

宮城県教育長教育委員研修会 令和4年1月27日

11月26日に大河原地区の合同研修会。白石キューブ

12月4日（土）明日の青少年をつくる会。

山家専門監

学習意識調査の大河原版について。5年生が、勉強時間が少なくなって、ゲームの時間が長くなって読書の時間が減っている。

現在の中3、小6は県内でのトップクラスだが、小5があまり良くない。

小学校の教科担任制、加配措置になると言われているが、学校規模によるものなのか。

→来年度から、段階的に導入される。大河原小学校で2名で申請している。教科は英語、算数、理科、体育。一人10時間くらい空き時間がでるのではないか。教材研究や採点ができる時間になるのではないか。

地方公務員法により定年が長くなることにより大変な変化になると思う。

10 次回教育委員会の開催日程について

鈴木教育長 | 次回は定例教育委員会が令和3年12月17日（金）午後2時から開催する。

11 閉会宣言 午後4時20分

令和3年12月17日

署名委員

署名委員